

# 知床ネイチャーキャンパス2017

公益財団法人知床自然大学院大学設立財団は、  
野生生物との共存を学ぶ教育プログラム

「知床ネイチャーキャンパス2017」を、  
知床をフィールドに開催いたしました。  
開催は昨年に続き2回目です。

今年のテーマは『知床で学ぼう 自然再生・自然復元』。



知床ネイチャーキャンパスとは・・・

野生生物の科学的保護管理（ワイルドライフマネジメント）の先進地である知床を舞台に、この分野の第一線で活躍する大学教授らが講師を務め、保護管理の実際に関する講義、野外実習を体験する教育プログラムです。

日 時：2017年9月30日～10月2日

講義場所：ホテル知床・研修センター

実習場所：世界遺産知床及び周辺の野外フィールド

受講生：20人

北海道内のほか、東京都、神奈川県、新潟県などから、野生生物を専攻する学生や環境保全業務にあたる社会人などが参加しました。

<講師（敬称略）>

中村太士（北海道大学大学院農学研究院教授）

石川幸男（弘前大学白神自然環境研究所教授）

梶 光一（東京農工大学院農学研究院教授）

竹中 健（シマフクロウ環境研究会代表）

増田 泰（公益財団法人知床財団事務局長）

敷田麻実（北陸先端科学技術大学院大学教授）



## 1日目 (9月30日)

知床ネイチャーキャンパス2017は、9月30日午後1時にスタート。  
オリエンテーションや自己紹介を行った後、  
さっそく自然再生・自然復元に関する講義が始まりました。

### 講義1 自然再生・自然復元の考え方

中村 太士 先生

プログラムの開始にあたり、中村先生には自然再生や自然復元に対する基本的な考え方をお話いただきました。「順応的管理とは?」「自然のリズムを崩さない」「環境と地域社会をいかに結ぶか?」など重要なキーワードを解説していただきました。



### 講義2 森林再生—知床の取り組み

石川 幸男 先生

1977年に斜里町が始めた知床100平方メートル運動では、1997年から本格的な森林再生を行っています。同運動の森林再生専門委員会座長を務める石川先生からは、運動の経緯や再生活動の基本的枠組み、課題、成果などをお話いただきました。



### 講義3 シカの管理と森林植生回復

梶 光一 先生

梶先生は、全国でシカが爆発的に増加した背景や、それに伴う森林植生の変化について解説。40年近く蓄積した知床のデータも紹介し、人とシカが共存するために、シカが低密度で生息し続ける環境が重要とお話いただきました。



### 講義4 ダム改良による河川生態系の復元

中村 太士 先生

サケ科魚類が河川を遡上する本来の河川生態系を回復するため、知床では遡上を阻害するダムの改良が進んでいます。知床世界自然遺産地域科学委員会でもこの分野を担う中村先生より、ダム改良の成果や課題を紹介していただきました。

## 2日目（10月1日）午前

2日目午前は知床のフィールドへ。  
1日目の講義で学んだことを、  
現場でさらに深めて学ぶことができました



移動中の車窓からヒグマを発見。

### 実習1 森林再生の現地実習（知床100平方メートル運動地）



知床100平方メートル運動地内を歩き、再生中の森林と原生林の境目で、石川先生より説明を受けました。



道半ばの森林再生について、エゾシカの影響などを含めて、増田先生が解説しました。運動のスケールの大きさを実感しました。

### 実習2 河川生態系復元の現地実習（岩尾別川流域）



岩尾別川河口の海岸を歩き、波間に見える無数の遡上中のサケマスを観察しました。オジロワシやヒグマの糞も発見し、豊かな知床の自然を肌で実感しました。



岩尾別さけます孵化場の増川場長に、孵化事業の現状などをお話いただきました。臨場感あふれる増川場長のお話により、受講生は一生懸命耳を傾けていました。



岩尾別川流域では、実際に改良が行われたダムの前で中村先生が解説。昨日の講義内容を振り返りながら、現場の自然を目に焼き付けました。



巨大なスチール製のダムのそばに立ち、構造や仕組みも学びました。天気にも恵まれ、気持ちの良い散策になりました。

## 2日目（10月1日）午後

2日目午後は再びホテルに戻り、実習を踏まえ、3つの講義を受けました。

### 講義5 シマフクロウの現状と生息地復元

竹中 健 先生

シマフクロウは生息環境の悪化で一時100羽以下まで減少し、現在は回復傾向にあります。長年保護活動に携わる竹中先生には、生態や復元目標のほか、アイヌ民族の重要な神であった歴史や、シマフクロウを守る意義についてもお話しいただきました。



### 講義6 森林再生・生態系復元のマネジメント

増田 泰 先生

知床の現場業務を担う知床財団事務局長の増田先生からは、自然再生・自然復元の現場で実施に直面している課題などを解説していただきました。ヒグマに接近するカメラマンの問題など、自然と社会の両方に向き合う必要性をお話しいただきました。



### 講義7 成果を上げる自然再生のプロセス

敷田 麻実 先生

敷田先生は、地域社会や経済への具体的な成果を自然再生で生み出す「次世代の自然再生」について、そのプロセスの設計や戦略の立て方などを解説。社会科学の観点から、自然再生・自然復元の新しい視点を提示していただきました。

## 3日目（10月2日）

3日目は実習とワークショップ。

実際に知床の保安全管理業務にあっている関係機関への訪問実習を経て、  
しれとこ100平方メートル運動や岩尾別川の価値を高める提案を考えました。  
夜には地元住民を交えたオープンキャンパス（発表会）で提案をお披露目しました。

### 実習3 グループワークによる関係機関への訪問・取材



知床森林生態系保全センター  
（林野庁 北海道森林管理局 稲川所長）



知床自然センター（知床財団 寺山次長）



知床世界遺産センター  
（北海道庁 知床世界遺産担当 石井主幹）



ホテル知床（講義室にて）  
（斜里町役場 茂木環境課長）

## ワークショップ



4グループに分かれ、受講生同士で議論。午前中に取材した内容をもとに、和気あいあいと、かつ真剣に課題に取り組みました。

年齢も職業もバラバラの受講生同士のチームで協力する大切さ、一つの結論を導く難しさ。難易度が高かったという声が多かったのですが、今後の仕事や人生で必ず役立つ経験になったのではないかと思います。

## オープンキャンパス 場所：知床グランドホテル北こぶし



プログラムの最後、場所を知床グランドホテル北こぶしに移し、地域住民もお招きして、オープンキャンパス（学習成果発表会）を開催しました。

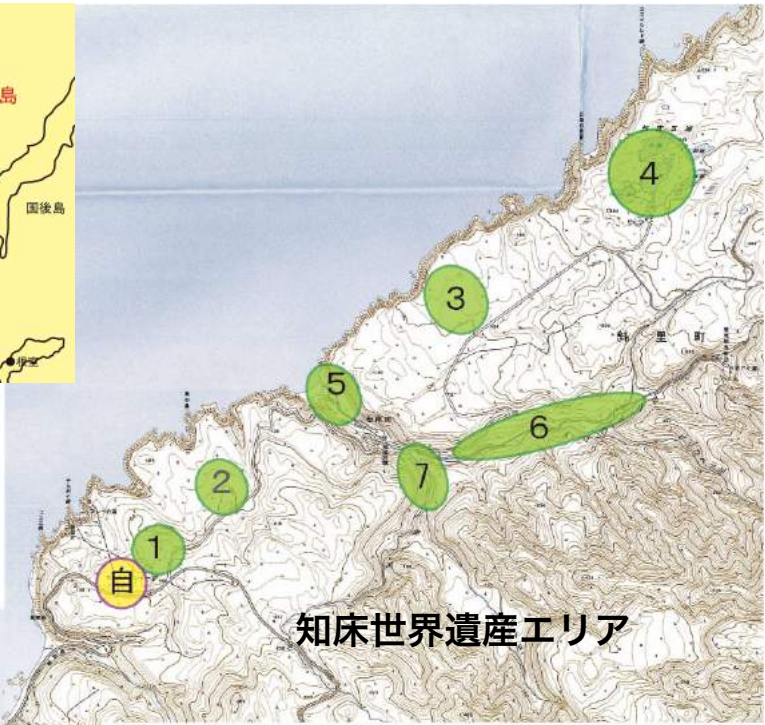
チームでよく練り上げた提案を発表し、それに対する意見交換も活発に行われました。講師陣はもちろん、地域住民からも、発表に対して意見や感想が伝えられました。

「知床ネイチャーキャンパス2017」のプログラム

	日 程	プログラム	講 師	内 容	時間配分
1 日 目	午後 13:00~17:50	開会・アイスブレイキング		講師紹介・受講生自己紹介など	50分
		講義 1	中村太士	自然再生・自然復元の考え方	50分
		講義 2	石川幸男	森林再生-知床の取り組み	50分
		講義 3	梶 光一	シカの管理と森林植生回復	50分
		講義 4	中村太士	ダム改良による河川生態系の復元	50分
2 日 目	午前 8:30~13:00	実習 1	石川・梶・増田	森林再生の現地実習 —知床100㎡運動運動地—	2時間
		実習 2	中村・竹中・増田	河川生態系復元の現地実習 —岩尾別川河口~流域—	2時間
	午後 13:00~14:00	講義 5	竹中 健	シマフクロウの現状と生息地復元	60分
		講義 6	増田 泰	森林再生・生態系復元のマネジメント	60分
		講義 7	敷田麻実	成果を上げる自然再生のプロセス	60分
		ワーク ショップ 1	敷田麻実	チームビルディング・テーマ設定	60分
3 日 目	午前 8:30~12:00	実習 3	全講師	テーマ：「知床の森林再生・生物相復元の価値を高める提案」 (チーム単位で関係機関訪問と取材)	3.5時間
	午後 13:00~17:00	ワーク ショップ 2	敷田麻実	ワークショップ (グループ討論、講師取材、まとめ、パワポ作成、発表準備など)	4時間
	夜 (別会場) 19:00~21:50	オープン キャンパス	全講師	オープンの発表会と講師講評、地元住民、関係者との意見交換	1.5時間
		交流会		地元住民・受講生・講師・関係者の交流	1.4時間

知床ネイチャーキャンパスのフィールド

図中番号	実習フィールド	実習項目
1	100㎡運動ハウスと森作りの道	開拓と保全の歴史・森林再生
2	知床100㎡運動地-幌別地区	森林再生・エゾシカ対策
3	知床100㎡運動地-岩尾別地区	森林再生・エゾシカ対策
4	知床五湖利用調整地区	利用調整システム・ヒグマ対策
5	岩尾別川河口・孵化場	サケの遡上・孵化事業・河川環境
6	岩尾別川本流域	河川生態系復元・ヒグマと利用者管理
7	岩尾別川支流	河川工作物の改善・生態系復元



知床世界遺産エリア



図中記号	実習施設	対応機関	実習内容
④	知床世界自然遺産センター	北海道・環境省	質問・知識のインプット ファシリテーション
⑤	知床森林生態系保全センター	林野庁	
⑥	知床自然センター	知床財団	
⑦	斜里町環境課(ホテル知床にて)	斜里町	

図中記号	利用施設	利用内容
①	知床第一ホテル (2016年)	講義室・宿泊
②	ホテル知床 (2017年)	講義室・宿泊
③	知床グランドホテル(2017年)	オープンキャンパス